

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	We b デザイン実習 5 B	
科目基礎情報					
開設学科	We b クリエイター科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	随時プリントを配布する。Dreamweaver Photoshop illustrator WEBブラウザ				
担当教員情報					
担当教員	小山洋行		実務経験の有無・職種	有・We b デザイナー	
学習目的					
限られた時間の中で、スピード感を持って制作にあたることは実社会で求められるスキルのひとつである。むろん、ただ早いだけではなく適切なかたちで処理するスキルも同時に重要といえる。 本授業では、プログラムやデザインを「早く」「的確」に実現できる能力を身に着けるねらいがある。毎回、完成後、順位付けと講評を行い緊張感と集中力を高める。 様々な状況において曖昧な目標から、具体的な目標に変える力を身につける事を目的とする。					
到達目標					
複数のWEBサイトを短期間にデザイン＆コーディングすることにより、効率良い、的確な能力を身につける。 複数の作品ができることにより、就職活動に使う作品集「ポートフォリオ」を充実させる。 デザイン3種類、コーディング＆プログラム2種類を作成し提出する。 デザインやプログラムの詳しくない方への配慮ができるようになる。 想定課題ではあるが、自らクライアントのイメージをより具体化し、よりリアリティーのある作品を提示できる。					
教育方法等					
授業概要	各学生の身近にあるお店のWEBサイトをリニューアルするという想定で3つデザインしその中の2つをコーディングする。 WEBサイト3つのうちそれぞれ飲食系、アパレル系、その他に分類、それぞれクライアントの要望を想定する形で課題を行う。 精度の高い作品を複数作ることによりポートフォリオの作品都を充実させる。				
注意点	クラス＝デザイン制作室という認識をもってより良いデザイン制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。制作にあたってはデザイナーとして各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	60%	デザイン課題はリアリティとクオリティで評価し、コーディングはスピードと精度で評価する		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション		授業内容を理解し、それぞれの目標を定める		
2回	デザインスピード課題1		トップページデザインカンパを短時間で作成することができる		
3回	デザインスピード課題1 提出 講評		プレゼン用のデザインカンパに構成してプリントアウトしホワイトボードに並べ順位をつける。		
4回	デザインスピード課題2		トップページデザインカンパを短時間で作成することができる		
5回	デザインスピード課題2 提出 講評		プレゼン用のデザインカンパに構成してプリントアウトしホワイトボードに並べ順位をつける。		
6回	デザインスピード課題3		ランディングページデザインを短時間で作成することができる		
7回	デザインスピード課題3 提出 講評		デザインしたものをプリントアウトしホワイトボードに並べ順位をつける。		
8回	コーディングスピード課題1-1		講評時に評価の高かったデザインを3つ選定し、そのうちのどれか一つを選びコーディングする。（他者がデザインしたものをコーディング）		
9回	コーディングスピード課題1-2		スマホ用のコーディング完成		
10回	コーディングスピード課題1-3		PC用のコーディングが50％以上完成		
11回	コーディングスピード課題1-4 提出 講評		コーディング完了し提出、講評。スピードと精度で評価		
12回	コーディングスピード課題2-1		自分がデザインしたサイトどれか一つを選びコーディングする		
13回	コーディングスピード課題2-2		スマホ用のコーディング完成		
14回	コーディングスピード課題2-3		PC用のコーディングが50％以上完成		
15回	コーディングスピード課題2-4 提出 講評		コーディング完了し提出、講評。スピードと精度で評価		